2020年3月20日

前代未聞

幕内取組無

紙相撲新聞

第150回本場所
八～九日目号

編集・発行
日本紙相撲協会

幕内取組不可の窮余の一策
幕下以下を千秋楽まで実施

【第百五十一回本場所八日～九日目】

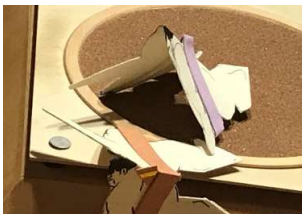
３月２０日に本場所を開催。幕内も残り４日と大詰めで、平幕で全勝の千代鈴が八日目に大関魁電、九日目に全勝の大関春ノ翔という割りが組まれ、大いに盛り上がる予定であった。

ところが、叩き役の勝間田親方が当日に体調不良で急遽欠席となり、理事会で協議した結果、この日に幕内の取り組みは行なわず、錦風親方が叩き役代理を務めて十両の２日（八日目、九日目）と幕下、育成会２日（四日目、千秋楽）を行なうことにし、来月開催予定の千秋楽に幕内４日（八日目～千秋楽）と十両２日（十日目、千秋楽）を行なうという変則開催とすることを決定した。

十両は九日目を終えて、東西の十両尻の２敗の西安と雪若丸がともに２連勝として７勝２敗で優勝争いのトップを守った。七日目まで２敗だった龍不動は日向藤、櫻吹雪に連敗して４敗に後退。日向藤は九日目に琴乃王の上手投げに屈し、春雷は八日目に西安との２敗対決で敗れ、琴乃王は八日目に磯日ノ丸に敗れ、それぞれ３敗に後退した。

琴乃王○（上手投げ）●日向藤

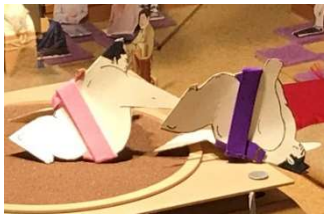
西安と雪若丸はともに上背はないが低い体勢から寄る相撲で白星を重ねて来た。今場所は千代鈴のような頭抜けた力士がいないだけに優勝の最有力候補と言えるだろう。



春　雷●（寄り切り）○西　安

一方で東西の筆頭の鹿富士、龍不動が幕内を目の前にして白星に恵まれなかった。鹿富士は八日目に櫻吹雪ののど輪に押し倒された。以前の鹿富士であれば、のど輪に来てくれれば懐の深さで潰す相撲で勝ってきたが、このところはまともにのど輪を喰って敗れる相撲が多く見られる。「歳だからしょうがないんだよ。」と鹿賀乃戸親方が嘆くが、まだ２４歳と年齢的でこれからという歳。もう一度鍛え直して、かつての輝きを取り戻してもらいたい。

龍不動はあと一番で勝ち越しというところで連敗して足踏みとなった。残り２日勝って悲願の入幕を果たしたいところ。東京後援会の面々も落ち着かない様子だ。



櫻吹雪○（押し倒し）●龍不動

幕下は西勢里が優勝

幕下は変則開催となって四日目と千秋楽を行ない、春日根部屋の西勢ノ里が５戦全勝で優勝を飾った。

四日目は西勢ノ里と豊田、西神門と黒田という春日根部屋と香具山両部屋の対戦となった。先場所三段目で優勝して幕下昇進の黒田は幕下でも優勝をと臨んだが、同じく新幕下の西神門に左を差されて寄り切りに敗れた。

西神門○（寄り切り）●黒　田

続いての全勝同士の対戦は西勢ノ里と豊田。西勢ノ里は先場所に新十両で負け越して幕下に陥落したものの３連勝として一場所での十両返り咲きが濃厚だが、さらに白星を積み重ねて復帰を確実にしたいところ。一方の豊田は優勝もさることながら、一気に十両昇進を果たせるように白星を積み重ねたいところ。「豊田！頑張れ！しっかり押して行け！」と檄を飛ばす香具山親方だったが、熱戦の末、惜しくも西勢ノ里に寄り切られた。

西勢里○（寄り切り）●豊　田

下位では３６歳ベテランの紅葉盛が７敗目を喫して十両からの陥落が濃厚となった。また、幕内経験者の菊の里も連敗して、十両に留まるにはもう一つも落とせない状況となった。

（錦風）

幕　下　西勢里（春日根　初
三段目　三　国（香具山　初
序二段　蛮　国（富士浪　２
序の口　赤　安（鴨　川　初

四日目が終わったところで、西勢ノ里と西神門の春日根部屋の２人が４戦全勝となった。「割りを組むのが大変だよ～！」と鹿賀乃戸親方。千秋楽は西勢ノ里と３勝１敗の剣将、西神門と３勝１敗の宇治家の割りが組まれた。西勢ノ里と西神門がともに勝てば同部屋による優勝決定戦、ともに敗れれば７人による優勝決定戦の可能性があるという千秋楽となった。

まず土俵に上がったのは、西神門と宇治家。西神門有利かと思われたが、宇治家が左を差す展開となって西神門に土がついた。

これで西勢ノ里が勝てばすんなり優勝が決まるが、負ければ７人によるの優勝決定戦となる。過去に７人にもなる優勝決定戦があっただろうか。すでに４勝を上げて優勝決定戦進出の可能性が出て来た力士たちが見守る中、西勢ノ里が力強い相撲で剣将を寄り切って幕下優勝を手にした。

西神門●（寄り切り）○宇治家

西勢ノ里は一場所での十両復帰が確定的となった。「西勢ノ里はこのままでも十両で十分相撲が取れるんじゃないか。」と友砂親方先場所の十両経験がプラスに働いたのだろう来場所の相撲が楽しみだ。

西勢里○（寄り切り）●剣　将

一方で４戦全敗同士の醍醐と響竜という錦風一門の元関取同士の取り組みが組まれた。負けた方が幕下から陥落するという厳しい一番では醍醐が勝って響竜の陥落が決定。また１勝３敗同士の英乃濱と九頭竜の鹿賀乃戸一門の元関取同士の対戦も負けた方が陥落という相撲で、九頭竜が勝って英乃濱の陥落が決まった。「錦風さん、お互い厳しい結果になったね」と鹿賀乃戸親方。「鹿賀乃戸さん、ほんとうだね」と錦風親方。お互いに慰めの言葉を交わしていた。

（錦風）